

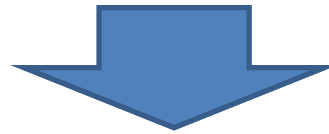
完全デジタル化に向けた 最終国民運動

平成23年1月24日
地上デジタル放送国民運動推進本部

前回会合（22.1.22）で決定した取組

国民運動の方向性

- ✓無関心層の関心を高める活動を中心に新たな運動を展開
- ✓デジタル対応への支援を一層積極的に展開



新たな国民運動の実施

具体策

取組1: スポーツ施設等で地デジスポットを上映

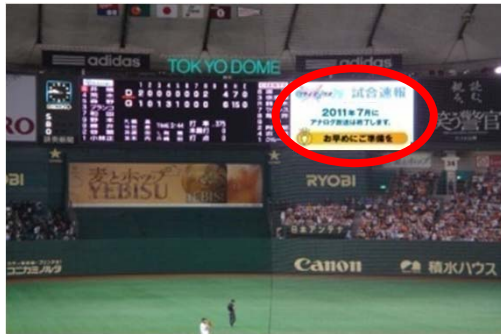
取組2: 著名な方々による地デジ普及活動

取組3: 身近な場所への斬新なポスター等の掲出

+

これまでの国民運動の継続・改善

プロ野球



協力:日本野球機構

上映期間：開幕～シーズン終了



【実績】

- 全12球団でスポット広告を上映
- 甲子園、横浜球場、東京ドームで総務大臣等による始球式

JRA



協力:日本中央競馬会

上映期間：2010年4月～2011年7月



【実績】

- 全国の
・競馬場
・ウインズ
でスポット広告を上映

Jリーグ



協力:Jリーグ

上映期間：開幕～シーズン終了



【実績】

- 全国のサッカー場でスポット広告を上映

著名な方々に「地デジ化応援隊」として、デジタル放送の魅力等を視聴者に伝えていただく。

応援隊メンバー（敬称略）

王貞治、桂歌丸、北島三郎、高橋英樹、萩本欽一、茂木健一郎

【活動内容】

- 地デジCMへの出演
 - 地デジイベントへの参加
 - テレビ番組で地デジの魅力等の紹介
 - 新聞広告への掲載 等
- ※上記活動に無償協力していただく。

【活動期間】

平成22年7月24日～平成23年7月24日



【活動例】

- 地デジPRスポット映像に出演、新聞・雑誌広告に写真・コメントを掲載
- 地デジ普及促進イベント（7/24銀座パレード等）に参加
- NHK「こんにちはいっと6けん」、日テレ「ブラックバラエティ」、TBS「はなまるマーケット」、テレ朝「ナニコレ珍百景」等の番組に出演、地デジ対応等と呼びかけ

身近な場所への斬新なポスター等の掲出

【主な実績】

- JR、東武鉄道、西武鉄道（駅貼り・窓上ポスター掲示、デジタルサイネージ等）
- ホスピタルチャンネル（南関東260病院の待合室におけるスポット放映）
- 日本科学未来館、日本パブリックビューイング協会、児童健全育成推進財団、量販店等（ポスター掲示）



渋谷 屋外ビジョン



東武鉄道 駅貼りポスター



西武鉄道 乗車位置ポスター



JR渋谷駅 大型ポスター

日本全国”地デジで元気！”キャンペーン

5

【概要】

地デジユニットのテツandトモ、ザ・たち、元気娘が、地デジの必要性やメリットを『もう一度』『わかりやすく』『楽しく』伝えるイベントを全国各地で展開。各地のテレビ放送でも取り上げ。

加えて、「地デジで元気！音頭」を通して、各団体、連盟の協力を得て、高齢者・福祉施設などでの地デジ普及に尽力。

平成22年度は、1月24日までに45ヶ所を実施（3月までに51ヶ所となる予定）。

【実施期間】

平成21年7月～平成23年7月

○ 沖縄県



○ 栃木県



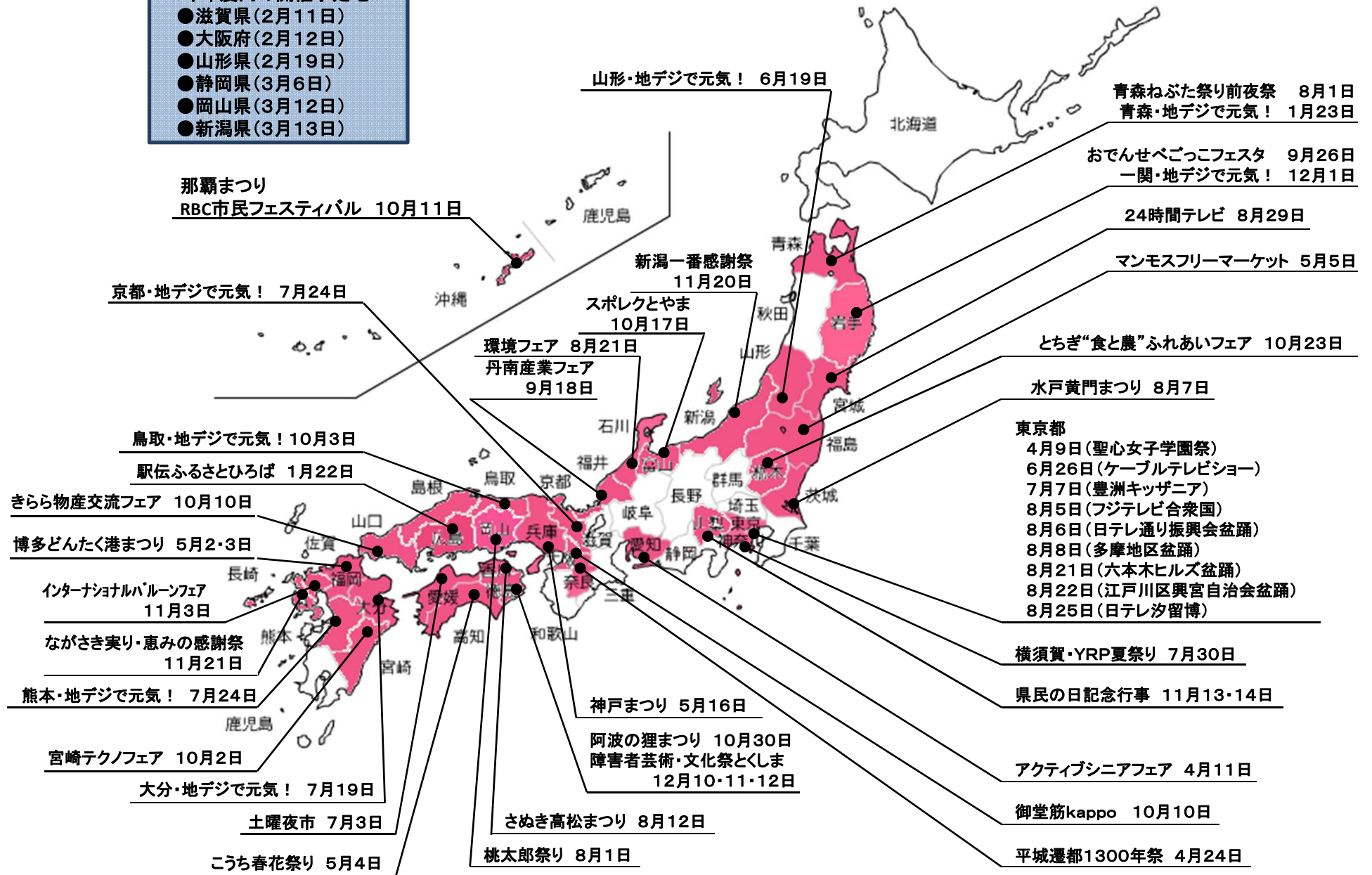
栃木県 福田知事とのCM撮影の様子

日本全国地デジで元気！ 都道府県別実施図

平成23年1月24日現在

《今年度内の開催予定地》

- 滋賀県(2月11日)
- 大阪府(2月12日)
- 山形県(2月19日)
- 静岡県(3月6日)
- 岡山県(3月12日)
- 新潟県(3月13日)



● 「地デジカ」キャラクターの利用

- ・ D p a制作のスポットCM、ポスター、パンフ、チラシ、ノベルティグッズへ起用
- ・ 全国の自治体約1,800のうち、約2割で広報誌やHPに起用
- ・ 着ぐるみ、ぬいぐるみ、パペットを制作し、各種イベントやスタジオ等で活用

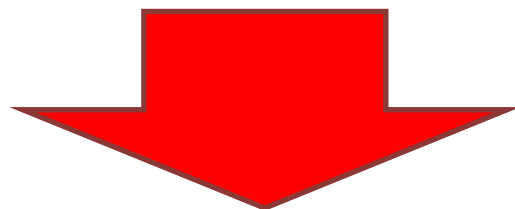
● 「地デジカ」の「広告販促への利用」と「商品化」

- ・ 収益を地デジ普及事業に有効活用
- ・ 広告販促及び商品化で30近くの企業と契約を締結
- ・ （収益を活用して）沖縄の老人ホームと離島の病院計6ヶ所に40インチの地デジTVを寄付
- ・ クリスマスイブに東京都の施設10ヶ所に地デジTVを寄付



【平成22年9月時点（浸透度調査）】

- 地デジ対応受信機を保有：90.3%
- アナログ放送終了までに対応予定：7.6%
- 対応予定がわからない：1.3%



- ✓ **ギリギリまで腰をあげない層（待ちデジ）**
- ✓ **どのように地デジ対応をすればよいかわからない層（お年寄り等）**

に動いていただく！

最終国民運動の5本柱

周知・広報活動

「地デジ化応援隊」による活動

日本全国地デジで元気！キャンペーン

拡充・強化

地デジボランティア全国声かけ・念押し運動

「地デジ詐欺ご用心！」運動

新規

地域で活動している団体に御協力いただき、「地デジボランティア」として、高齢者等の未対応世帯に対して、地デジ対応を促す声かけ・念押しや資料配付などを行う全国的な草の根運動を展開。

地デジボランティア

ボーイスカウト、母親クラブ、
自治体職員、民生委員、ボランティア団体等

地デジボランティア・スペシャル・アドバイザーが活動やPR
で応援



協力団体の活動
の中で、お年寄り
などに声かけ・念
押し、相談先を記
したカード類や資
料を配付 等

未対応世帯

テレビが変わる
そうだけど
よく分からない
ねえ



活動をサポート

- ・ 団体の登録、公表
- ・ 説明資料・連絡先カード
- ・ 必要に応じ事前講習等
- ・ ボランティア相談窓口 等

地デジのご準備、
お済みですか？

「アナログ」の表示
は本当に出ていま
せんよね？

デジサポが
お手伝いして
くれますよ

戸別訪問等
支援の依頼
(必要に応じて
ボランティアが
代わりに連絡)

戸別訪問、
受信調査で
支援



○ 国民運動推進本部での「地デジ悪質商法KO宣言！」を皮切りに、注意喚起のための対策を集中的に実施

○ 対策の例

- ・ 「地デジ詐欺ご用心！運動強化月間」の設定

- ・ 「これって地デジ詐欺？ ウソ・ホント？」を作成し、関係事業者・団体を通じて一般に広く周知

例. 「総務省を名乗る男性にアンテナ工事代金を請求された。これホント？」「×ウソ！総務省がお金を請求することはありません。（以下説明）」

- ・ 地デジ詐欺対策のパンフレットを消費者団体と共同で作成
- ・ 地デジコールセンター等への相談者に対する「問いかけ型の注意喚起」の実施

→ 強化月間と連動し、関係業界とも連携

『(待ち受け時間中)地デジの受信に必要なだと言われて、工事もしていないのに金銭を請求されたことはありませんか？地デジ詐欺にご用心ください！』

- ・ 放送を通じた注意喚起

→ 番組、スーパー等を活用した具体的な注意喚起



「地デジ悪質商法KO宣言!」

地上アナログ放送は、今年7月24日に終了し、地上デジタル放送(地デジ)に完全移行します。

地デジ化は、美しい映像、データ放送、字幕放送など放送サービスの高度化や周波数の有効利用を通じて便利で豊かな国民生活や安全な社会を実現します。国民の新しい情報インフラとして、その可能性が飛躍的に広がります。

私たちは、地デジ化に向けて国民が円滑に移行できるよう、関係者が一体となった周知・啓発・相談などの国民運動をこれまで展開してきました。その甲斐もあり、地デジ対応の受信機の世帯普及率が昨年9月の時点で90%を超えるなど、一步ずつ着実に進捗しています。

そして、今後も国民運動をさらに積極的に展開し、豊かな国民生活を形作るみんなの新しいインフラとなる地デジへの移行を無事に果たすためには、国民一人一人が安心して確実に対応いただくことが何より大切です。

そのような中、残念ながら、地デジへの移行につけ込み、行政や放送局をかたり不正に金銭を要求するなど、国民を不安にさせる詐欺などの悪質商法が発生しています。

私たちは、アナログ放送の終了に向けて、こうした地デジ詐欺の被害を防ぎ、悪質商法が増えることのないよう、地域住民、関係事業者、関係団体、行政機関等が一体となって、地デジに関わる悪質商法に立ち向かい、ノックアウト(KO)し、国民が安心して地デジに移行することができるよう取り組むことを宣言します。

平成23年1月24日
地上デジタル放送国民運動推進本部